

区民による公園づくり事業

<岡谷市花岡区（岡谷市）>

取り組みに至る背景・事業の目的

- 岡谷市花岡区は、平成 18 年 7 月の豪雨災害で小田井沢川の土石流などにより、大きな被害が発生し、現在まで、県や市を中心に災害復旧事業が進められている一方、広葉樹林の植林による森林づくりや地域サポートセンターの設置などの活動を、区民が結束して進めてきている。
- 眼下に釜口水門や諏訪湖、岡谷市街の眺望が広がり、花岡城跡に整備され「諏訪八景」の一つとされる花岡公園は、市と区が共同で管理を行っているが、単に管理を行うだけでなく、自分たちの地域に根付き、人が集い、区民の憩いの場となるよう、豪雨災害の復興で培った区民の結束力による取り組みとして公園整備を行う。

事業内容

<事業費 790 千円、支援金 784 千円>

- 諏訪湖から見え、区のシンボルとして親しまれる花岡公園が、四季折々の花で彩られる公園として、人が集い、区民の憩いの場となるよう、レンギョウ、ツツジ、アジサイの植樹、草刈などを行い、公園を区民と地元中学生の力で整備した。
- 主な活動内容
 - 5月 レンギョウ移植のための掘り取り作業
 - 6月 レンギョウの植樹、草刈作業
 - 7月 草刈作業、アジサイ等の植樹作業
 - 9月 砂利敷作業



【植樹作業の様子】

事業効果

- 公園を四季折々の花で彩る地区の憩いの場として、また、諏訪湖から見える景観の名所として環境整備ができた。整備した公園では、家庭で不用となった鯉のぼりの装飾や、秋の祭事として古くから続く城山祭の開催などの地域活動が行われるようになった。
- 参加した区役員、地元中学生、区内の団体などがともに汗を流すことで、世代を超えた一体感が醸成され、平成 18 年 7 月の豪雨災害で培った区民の結束力を風化させない地域力の育成につながった。
- 区民の環境美化に対する意識が高まった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 花岡公園が地域に密着した人が集う憩いの場として、また花の観光名所となるように今後とも区民の手により環境整備を続けながら、区民の大切なものは区民自らが手を入れる意識を他の様々な活動へも波及させていく。
- 花岡公園を四季折々の花で彩りながら、春から初夏にかけての風物詩として親しまれている公園への鯉のぼりの装飾や、秋の祭事として古くから続く城山祭の開催など、季節を通じた地域活動に公園を活用していく。

【選定理由のポイント】

- 地域が一体となって復興活動を進めるなかで、区の役員や地元中学校の生徒など区民延べ 185 人が参加し、花岡公園を区民の憩いの場とするため自らの手で植栽や環境整備を行い、災害復興の記念碑的な活動となっている。
- アジサイやツツジ、レンギョウなどを植樹し、四季折々の花で彩るほか、5月には 200 匹の鯉のぼりを装飾し、秋には古くから続く城山祭を開催するなど、区民自身の力で、地域に根付き親しまれる公園に育てている。